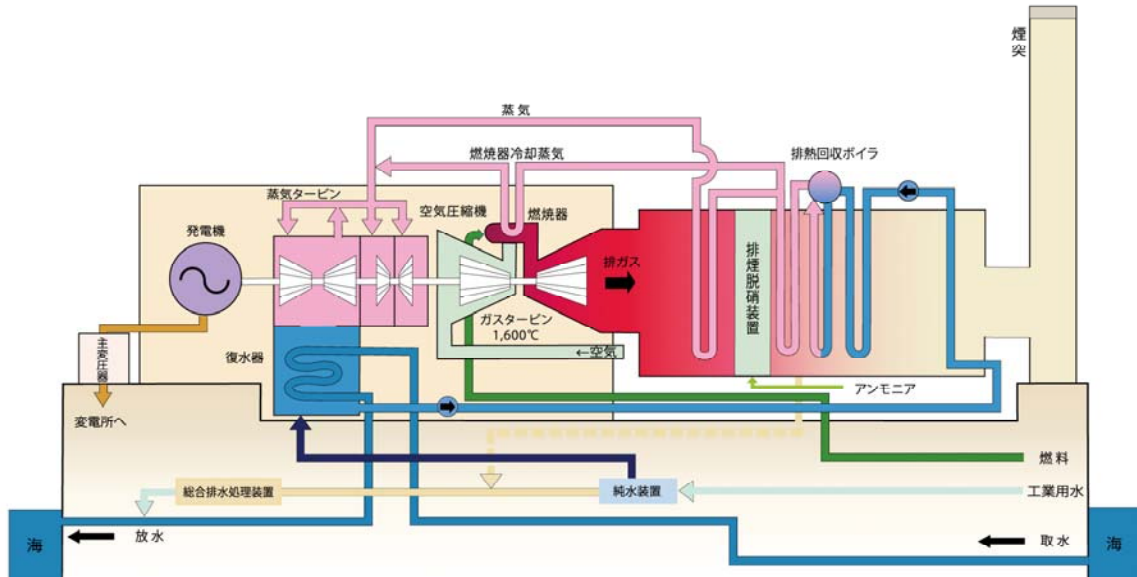


コンバインドサイクル発電方式の概要



- コンバインドサイクル発電方式とは、ガスタービン発電と火力発電の長所を組み合わせた発電方式で、高温高压の燃焼ガスの膨張力によりガスタービンを回転させると同時に、ガスタービンを回転させた後の高温の排ガスをボイラに導き、蒸気を発生させ、蒸気タービンを回転させて発電する仕組みです。
- 熱効率が高く、発電電力量あたりの二酸化炭素の排出量を低減できるとともに、出力の3分の2をガスタービンが負担するため、火力発電に比べて温排水量を低減することができるなどの特徴を有しています。

以上